

発達が気になる子への早期発見、早期支援に関するデータ

大宜味村

◆ 人口：3,156人（平成28年度）

【出生】平成28年度  
年間出生数：26人  
養育医療申請児数：0人  
低出生体重児数：5人

【乳幼児健康診査】平成28年度

	受診率	要フォロー率	スクリーニング
乳児	83.3%	2.5%	保健師判断/医師判断 保護者の訴え
1歳半	95.7%	4.5%	
3歳児	89.3%	0.0%	

【未受診者対策】  
電話・はがきでの再通知/母子保健推進員等による訪問勧奨

【子育て支援サービス】  
◆子育て支援センター：  
気になる子のフォローの場としての利用：  
なし  
＜その他子育て支援サービス＞  
・村、単独の子育てサークルへ案内

【個別発達相談】  
年間回数：件/年 延べ 回/年  
担当職種：

【医療機関】  
\*「発達障がい児(者)の診察等を行っている医療機関リスト」(沖縄県発達障害者支援センター)参照

【療育グループ】

グループ名	
対象児	
開催日時	
定員	
実施場所	
スタッフ	

【健診事後フォロー教室】

グループ名	
対象児	
開催日時	
定員	
実施場所	
スタッフ	

【移行支援】

【移行支援】

【相談支援事業所】 指定障害児相談支援事業所 1カ所  
【療育の利用にあたり必要な手続き】 手帳所持

【療育】

児童福祉法による障害児通所支援				それ以外の通所支援		
親子通園	単独通園	医療型児童発達支援	保育所等訪問支援	親子通園	単独通園	その他
0カ所	0カ所	0カ所	0カ所	0カ所	0カ所	0カ所

【自治体の実施する取り組みや研修】

【親の会等】  
・特になし  
  
\*「発達障がいに関する親の会・当事者団体等リスト」(沖縄県発達障害者支援センター)参照

【移行支援】

【保育所】

公立	認可	小規模認可	認可外	認定こども園	自治体独自の認定園
2カ所	カ所	カ所	カ所	カ所	カ所

【障害児保育】  
実施園数：1カ所 実施人数：1人  
＜必要な手続き＞  
診断書・医師意見書  
【通常保育の中の気になる子を把握する仕組み】  
【気になる子がいた場合に紹介できる支援・機関】  
名護療育医療センター

【施設支援・巡回支援】  
巡回支援専門員整備事業  
＜対象施設＞  
公立保育所  
＜必要な手続き＞  
施設からの希望/施設職員からの希望  
＜対応職種＞  
言語聴覚士

【自治体の実施する取り組みや研修】  
・発達障害児の支援については、それぞれの施設の工夫に任せている。  
【認可外保育園の気になる子を把握する取り組み】  
＜発達障害に関する研修＞

【障害児保育から幼稚園や小学校へ繋げる取り組み】

【保育園での気になる子を幼稚園や小学校へ繋げる取り組み】

【放課後児童クラブ】  
学童保育設置数：1カ所  
障害児受入学童数：0カ所  
「障害児受入推進事業」実施学童数：カ所  
「障害児受入強化推進事業」実施学童数：0カ所

【就園・就学】

保健師による個別支援（訪問、電話相談等）

# 大宜味村

◆ 人口：3,156 人（平成 28 年度）



【 児童支援・保護者支援・教師支援に向けた取り組み 】

【 障害者相談支援事業 】

- 委託相談事業所（3カ所）
  - ・地域生活支援センター ウェーブ
  - ・北部障害者生活支援センター ハーモニー
  - ・地域生活支援事業所 うむさばる
- 基幹相談支援センター
  - ・地域生活支援センター ウェーブ
  - ・北部障害者生活支援センター ハーモニー

【 巡回支援専門員整備事業 】

現在、実施している  
委託先(社会福祉法人 五和会 名護療育医療センター)

【 その他独自事業等 】

- ・事例なし。

【 各機関の相互連携 】

発達支援に関する行政内での連携会議等

名称	子ども療育準備部会
頻度	年5回
参加部署等	住民福祉課(福祉係3人、保健師2人、栄養士)／各保育園所長、幼稚園園長／教育委員会(学校教育係2人)
検討内容	・近隣のモデル事例を参考に大宜味村でも取り組みを検討。 ・障がい児保育の立ち上げ。 ・子ども療育部会の立ち上げ(平成29年に向けて)。

【 災害時の支援について 】

- ・障害手帳・療育手帳をもらっている方や独り暮らしの高齢者から情報提供を行って良いか同意書をもらい一覧を作成し消防署などに情報提供を行えるように取り組み中。

【 幼稚園入園時に発達障害の子どもを把握する取り組み 】

<状況>ほぼ把握している  
<把握方法>保育所からの引き継ぎ ※制度化していない

<p><b>幼稚園</b></p> <p>公立：1カ所 私立：0カ所</p> <p>【 特別支援学級 】</p> <p>公立 0カ所 担当教諭数： 幼児数：</p> <p>【 加配支援員について 】</p> <p>配置： なし(総数： 人) 加配支援員の資格等：</p> <p>【 加配支援員向け研修会について 】</p>	<p>【 就学相談(就学指導)について 】</p> <p>実施： していない 幼児数： 人</p> <p>【 巡回相談について 】</p> <p>&lt;インクルーシブ教育システム整備事業の利用&gt; 利用している</p> <p>&lt;市町村独自の巡回相談&gt;</p> <p>派遣件数： 件 実支援幼児数： 人</p> <p>【 個別の教育支援計画・指導計画について 】</p> <p>作成していない</p>
---	--

【 幼稚園で気になる子の情報の小学校への引き継ぎについて 】

その他(今後委員会主催で情報交換の場を検討中)



【 小学校入学時に発達障害の子どもを把握する取り組み 】

<状況>ほぼ把握している  
<把握方法>保育所・幼稚園からの引き継ぎ

<p><b>小学校</b></p> <p>1カ所</p> <p>【 特別支援学級 】</p> <p>1カ所 担当教員数： 1 児童実数： 3</p> <p>【 通級指導学級 】</p> <p>言語学級： 0カ所 情緒学級： 0カ所 担当教員数： 担当教員数： 児童実数： 児童実数：</p> <p>【 ヘルパー等について 】</p> <p>配置： なし(総数： 人) ヘルパー等の資格等：</p> <p>【 ヘルパー等向け研修会について 】</p>	<p>【 就学相談(就学指導)について 】</p> <p>実施： している 児童数： 3人</p> <p>【 巡回相談について 】</p> <p>&lt;インクルーシブ教育システム整備事業の利用&gt; 利用している</p> <p>&lt;市町村独自の巡回相談&gt;</p> <p>派遣件数： 件 実支援児童数： 人</p> <p>【 個別の教育支援計画・指導計画について 】</p>
--	---

【 小学校で気になる子の情報の中学校への引き継ぎについて 】

その他(今後委員会主催で情報交換の場を検討中)



【 中学校入学時に発達障害の子どもを把握する取り組み 】

<状況>ほぼ把握している  
<把握方法>小学校からの引き継ぎ

<p><b>中学校</b></p> <p>1カ所</p> <p>【 特別支援学級 】</p> <p>1カ所 担当教員数： 1 生徒実数： 1</p> <p>【 通級指導学級 】</p> <p>言語学級： 0カ所 情緒学級： 0カ所</p> <p>【 ヘルパー等について 】</p> <p>配置： なし(総数： 人) ヘルパー等の資格等：</p> <p>【 ヘルパー等向け研修会について 】</p>	<p>【 就学相談(就学指導)について 】</p> <p>実施： していない 生徒数： 0人</p> <p>【 巡回相談について 】</p> <p>&lt;インクルーシブ教育システム整備事業の利用&gt; 利用している</p> <p>&lt;市町村独自の巡回相談&gt;</p> <p>派遣件数： 件 実支援生徒数： 人</p> <p>【 個別の教育支援計画・指導計画について 】</p>
--	--

【 中学校で気になる子の情報の引き継ぎについて 】

- 高等学校：その他(今後委員会主催で情報交換の場を検討中)
- 卒後、相談機関：

高等学校・特別支援学校・就労 等



【 成人の発達障害者に対する支援 】

【 発達障害の可能性が疑われる(未診断)の方への対応 】

- ・事例なし。

【 自治体で行っている特別支援教育に関する研修会について 】

研修名／対象／年間回数／形態

【 特別支援教育を進めるにあたり市町村独自で取組んでいること 】

【 教育研究所等市町村独自の機関との連携について 】

【 他機関・他課連携について 】

<他課との取り組み>

<他機関との取り組み>

【 要保護児童対策地域協議会や障害者自立支援協議会との連携 】

発達が気になる子への早期発見、早期支援に関するデータ

東村

◆ 人口：1,833人（平成28年度）

【出生】平成28年度  
年間出生数：11人  
養育医療申請児数：0人  
低出生体重児数：0人

【乳幼児健康診査】平成28年度

	受診率	要フォロー率	スクリーニング
乳児	75.0%	0.0%	医師判断 保護者の訴え/会場での観察/課題の実施
1歳半	61.0%	0.0%	
3歳児	50.0%	10.0%	

【未受診者対策】

電話・はがきでの再通知  
・保育所や子育て支援センターと連携し、通っている保育所の先生から勧奨する機会をつくっている。

【子育て支援サービス】

◆子育て支援センター：  
一般型 1カ所  
連携型 0カ所

気になる子のフォローの場としての利用：  
なし  
＜その他子育て支援サービス＞

【個別発達相談】

年間回数：7件/年 延べ7回/年  
担当職種：臨床心理士

【医療機関】

\*「発達障がい児(者)の診療等を行っている医療機関リスト」(沖縄県発達障害者支援センター)参照

【療育グループ】

グループ名	対象児	開催日時	定員	実施場所	スタッフ

【健診事後フォロー教室】

グループ名	対象児	開催日時	定員	実施場所	スタッフ

【移行支援】

【移行支援】

【相談支援事業所】

指定障害児相談支援事業所 0カ所

【療育の利用にあたり必要な手続き】

手帳所持

【親の会等】

・東村心身障がい児者親の会

\*「発達障がいに関する親の会・当事者団体等リスト」(沖縄県発達障害者支援センター)参照

【療育】

児童福祉法による障害児通所支援				それ以外の通所支援		
児童発達支援		医療型児童発達支援	保育所等訪問支援	親子通園	単独通園	その他
親子通園	単独通園	0カ所	0カ所	0カ所	0カ所	0カ所
0カ所	0カ所	0カ所	0カ所	0カ所	0カ所	0カ所

【自治体の実施する取り組みや研修】

【移行支援】

【保育所】※( )内は療育機関を併用している児の数

公立	認可	小規模認可	認可外	認定こども園	自治体独自の認定園
1カ所 (0人)	0カ所	0カ所	0カ所	0カ所	なし

【障害児保育】

実施園数：0カ所 実施人数：0人

＜必要な手続き＞

【通常保育の中の気になる子を把握する仕組み】  
・保健師等からの情報提供。

【気になる子がいた場合に紹介できる支援・機関】

【施設支援・巡回支援】

＜対象施設＞

＜必要な手続き＞

＜対応職種＞

【自治体の実施する取り組みや研修】

【認可外保育園の気になる子を把握する取り組み】  
・認可外保育園なし。

＜発達障害に関する研修＞

【障害児保育から幼稚園や小学校へ繋げる取り組み】

・サポートネット連絡会にて協議。

【保育園での気になる子を幼稚園や小学校へ繋げる取り組み】

・サポートネット連絡会にて協議。

【放課後児童クラブ】

児童保育設置数：設置なし  
障害児受入児童数：カ所  
「障害児受入推進事業」実施児童数：カ所  
「障害児受入強化推進事業」実施児童数：カ所

【就園・就学】

保健師による個別支援（訪問、電話相談等）



【 児童支援・保護者支援・教師支援に  
向けた取り組み 】

【 障害者相談支援事業 】  
●委託相談事業所（3カ所）  
・地域生活支援センター ウェーブ  
・北部障害者生活支援センター ハーモニー  
・地域生活支援事業所 うむさばる

【 巡回支援専門員整備事業 】  
実施の予定はない

【 その他独自事業等 】

【 幼稚園入園時に発達障害の子どもを把握する取り組み 】  
<状況>一部把握している  
<把握方法>保育所からの引き継ぎ／保護者からの事前相談 ※制度化していない

【 幼稚園 】  
公立：2カ所  
私立：0カ所

【 就学相談(就学指導)について 】  
実施：している  
幼児数：0人

【 特別支援学級 】  
公立 0カ所  
担当教諭数： 幼児数：

【 巡回相談について 】  
<インクルーシブ教育システム整備事業の利用>  
利用していない

【 加配支援員について 】  
配置：なし(総数：人)  
加配支援員の資格等：なし

<市町村独自の巡回相談>  
実施している  
臨床心理士による学校巡回訪問(定期)  
派遣件数：0件 実支援幼児数：0人

【 加配支援員向け研修会について 】  
あり  
特別支援教育支援員研修会

【 個別の教育支援計画・指導計画について 】  
診断がある子は、作成している

【 幼稚園で気になる子の情報の小学校への引き継ぎについて 】  
委員会主催で情報交換の場を設けている

【 小学校入学時に発達障害の子どもを把握する取り組み 】  
<状況>ほぼ把握している  
<把握方法>保育所・幼稚園からの引き継ぎ／保護者からの事前相談 ※制度化していない

【 小学校 】  
3カ所

【 就学相談(就学指導)について 】  
実施：している  
児童数：0人

【 特別支援学級 】  
2カ所  
担当教員数：2 児童実数：2

【 巡回相談について 】  
<インクルーシブ教育システム整備事業の利用>  
利用していない

【 通級指導学級 】  
言語学級：0カ所 情緒学級：0カ所  
担当教員数：0 担当教員数：0  
児童実数： 児童実数：

<市町村独自の巡回相談>  
実施している  
臨床心理士による学校巡回訪問(定期)  
派遣件数：12件 実支援児童数：6人

【 ヘルパー等について 】  
配置：あり(総数：3人)  
ヘルパー等の資格等：あり

【 個別の教育支援計画・指導計画について 】  
診断がある子は、作成している

【 ヘルパー等向け研修会について 】  
あり  
特別支援教育支援研修会

【 小学校で気になる子の情報の中学校への引き継ぎについて 】  
個別の教育支援計画を引き継ぐよう助言している／委員会主催で情報交換の場を設けている

【 中学校入学時に発達障害の子どもを把握する取り組み 】  
<状況>ほぼ把握している  
<把握方法>小学校からの引き継ぎ／保護者からの事前相談 ※制度化していない

【 中学校 】  
3カ所

【 就学相談(就学指導)について 】  
実施：している  
生徒数：0人

【 特別支援学級 】  
1カ所  
担当教員数：1 生徒実数：1

【 巡回相談について 】  
<インクルーシブ教育システム整備事業の利用>  
利用していない

【 通級指導学級 】  
言語学級：0カ所 情緒学級：0カ所

<市町村独自の巡回相談>  
実施している  
臨床心理士による学校巡回訪問(定期)  
派遣件数：12件 実支援生徒数：6人

【 ヘルパー等について 】  
配置：あり(総数：3人)  
ヘルパー等の資格等：あり

【 個別の教育支援計画・指導計画について 】  
診断がある子は、作成している

【 ヘルパー等向け研修会について 】  
あり  
特別支援教育支援員研修会

【 中学校で気になる子の情報の引き継ぎについて 】  
●高等学校：個別の教育支援計画を引き継ぐよう助言している／委員会主催で情報交換の場を設けている  
／担当者同士で引き継ぐよう文書等で促している  
●卒業、相談機関：個別の教育支援計画を引き継ぐよう助言している／委員会主催で情報交換の場を設けている  
／担当者同士で引き継ぐよう文書等で促している

高等学校・特別支援学校・就労 等

【 成人の発達障害者に対する支援 】

【 発達障害の可能性が疑われる(未診断)の方への対応 】

【 自治体で行っている特別支援教育に  
関する研修会について 】  
研修名／対象／年間回数／形態

・特別支援教育支援員研修会／特別支援教育支援員(ヘルパー)／6／定例

・特別支援教育コーディネーター研修会／各学校特別支援担当者／定例

【 特別支援教育を進めるにあたり  
市町村独自で取組んでいること 】

・学校から支援を必要とする児童生徒の案件について、教育委員会に挙げてもらい、年に2回、特別支援教育コーディネーターおよび臨床心理士を招き、各学校長、各学校特別支援コーディネーターと村教育支援委員会を開催している。

【 教育研究所等  
市町村独自の機関との連携について 】

【 他機関・他課連携について 】

<他課との取り組み>  
・福祉保健課と連携を行っている。

<他機関との取り組み>  
・地域で相談できる機関がない。

【 要保護児童対策地域協議会や  
障害者自立支援協議会との連携 】

連携している  
連携先：要保護児童対策地域協議会

発達が気になる子への早期発見、早期支援に関するデータ

伊是名村

◆ 人口：1,502人（平成28年度）

【出生】平成28年度  
年間出生数：16人  
養育医療申請児数：1人  
低出生体重児数：3人

【乳幼児健康診査】平成28年度

	受診率	要フォロー率	スクリーニング
乳児	88.6%	3.2%	問診スクリーニング(小児保健協会作成の問診票)／保健師判断／医師判断 保護者の訴え／会場での観察／課題の実施
1歳半	94.1%	18.8%	
3歳児	88.9%	6.3%	

【未受診者対策】

電話・はがきでの再通知／保健師による訪問勧奨  
・未受診の理由を必ず確認するようにしている(電話や訪問して)。

【子育て支援サービス】

◆子育て支援センター：  
一般型 0カ所

気になる子のフォローの場としての利用：

<その他子育て支援サービス>

【個別発達相談】

年間回数：6件／年 延べ12回／年  
担当職種：保健師

【医療機関】

\*「発達障がい児(者)の診療等を行っている医療機関リスト」(沖縄県発達障害者支援センター)参照

【療育グループ】

グループ名	対象児	開催日時	定員	実施場所	スタッフ

【健診事後フォロー教室】

グループ名	対象児	開催日時	定員	実施場所	スタッフ

【移行支援】

【移行支援】

【相談支援事業所】

指定障害児相談支援事業所 0カ所

【療育の利用にあたり必要な手続き】

【療育】

児童福祉法による障害児通所支援				それ以外の通所支援		
児童発達支援		医療型児童発達支援	保育所等訪問支援	親子通園	単独通園	その他
親子通園	単独通園					
0カ所	0カ所	0カ所	0カ所	カ所	カ所	カ所

【自治体の実施する取り組みや研修】

【親の会等】

\*「発達障がいに関する親の会・当事者団体等リスト」(沖縄県発達障害者支援センター)参照

【移行支援】

【保育所】

公立	認可	小規模認可	認可外	認定こども園	自治体独自の認定園
1カ所	カ所	カ所	カ所	カ所	カ所

【障害児保育】

実施園数：0カ所 実施人数：0人

<必要な手続き>  
手帳所持(療育手帳)／診断書・医師意見書

【通常保育の中の気になる子を把握する仕組み】  
・幼、保連絡会の中で、教育委員会、幼稚園、保育所、保健師のメンバーで情報交換をしている。

【気になる子がいた場合に紹介できる支援・機関】  
名護療育医療センター／うむさばる相談員

【施設支援・巡回支援】

<対象施設>

<必要な手続き>

<対応職種>

【自治体の実施する取り組みや研修】

【認可外保育園の気になる子を把握する取り組み】

<発達障害に関する研修>

【障害児保育から幼稚園や小学校へ繋げる取り組み】

【保育園での気になる子を幼稚園や小学校へ繋げる取り組み】

・幼、保連絡会で引き継ぎを行っている。

【放課後児童クラブ】

学童保育設置数：設置なし  
障害児の受入学童数：カ所  
「障害児受入推進事業」実施学童数：カ所  
「障害児受入強化推進事業」実施学童数：カ所

【就園・就学】

保健師による個別支援(訪問、電話相談等)

# 伊是名村

◆ 人口：1,502人（平成28年度）



【 児童支援・保護者支援・教師支援に向けた取り組み 】

【 障害者相談支援事業 】  
 ●委託相談事業所（3カ所）  
 ・相談支援事業所 ウェーブ  
 ・北部障害者生活支援センター ハーモニー  
 ・地域生活支援事業所 うむさばる

●基幹相談支援センター  
 ・相談支援事業所 ウェーブ

【 巡回支援専門員整備事業 】  
 実施の予定はない

【 その他独自事業等 】

・決まった取り組みではないが、自立支援協議会での議題が発達障害に関してが多く、個別ケースでの話し合いはよく行っている。

【 各機関の相互連携 】  
 発達支援に関する行政内での連携会議等

名称	伊是名村自立支援協議会
頻度	年1回以上
参加部署等	住民福祉課／村保健センター
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村全体での障害者の数。</li> <li>・個別でのケース会議。</li> <li>・福祉サービスの利用方法について                      →村にはGHIカ所、就労B型2カ所しかないため。</li> </ul>

【 災害時の支援について 】

・高齢、介護での避難行動要支援のリスト作成はあったが、発達障害児者でのリストはなく、グループホーム・社協と連携して、リスト作成など取り組む必要がある。

【 幼稚園入園時に発達障害の子どもを把握する取り組み 】  
 <状況>ほぼ把握している  
 <把握方法>保育所からの引き継ぎ ※制度化していない

【 幼稚園 】  
 公立：1カ所  
 私立：0カ所

【 特別支援学級 】  
 公立 0カ所  
 担当教諭数：0 幼児数：0

【 加配支援員について 】  
 配置：なし(総数：人)  
 加配支援員の資格等：あり

【 加配支援員向け研修会について 】  
 あり  
 特別支援教育コーディネーター研

【 就学相談(就学指導)について 】  
 実施：していない  
 幼児数：0人

【 巡回相談について 】  
 <インクルーシブ教育システム整備事業の利用>  
 利用している

<市町村独自の巡回相談>  
 実施している  
 親子ふれあい事業  
 派遣件数：2件 実支援幼児数：10人以内

【 個別の教育支援計画・指導計画について 】  
 支援の必要な子は、全員作成している

【 幼稚園で気になる子の情報の小学校への引き継ぎについて 】  
 委員会主催で情報交換の場を設けている／現場職員に一任している



【 小学校入学時に発達障害の子どもを把握する取り組み 】  
 <状況>ほぼ把握している  
 <把握方法>就学時健診でスクリーニング／保育所・幼稚園からの引き継ぎ ※制度化していない

【 小学校 】  
 1カ所

【 特別支援学級 】  
 1カ所  
 担当教員数：1 児童実数：1

【 通級指導学級 】  
 言語学級：カ所 情緒学級：カ所  
 担当教員数： 担当教員数：  
 児童実数： 児童実数：

【 ヘルパー等について 】  
 配置：なし(総数：人)  
 ヘルパー等の資格等：あり

【 ヘルパー等向け研修会について 】  
 あり  
 特別支援教育コーディネーター研

【 就学相談(就学指導)について 】  
 実施：している  
 児童数：5人

【 巡回相談について 】  
 <インクルーシブ教育システム整備事業の利用>  
 利用している

<市町村独自の巡回相談>  
 実施している  
 親子ふれあい事業  
 派遣件数：2件 実支援児童数：10人以内

【 個別の教育支援計画・指導計画について 】  
 支援の必要な子は、全員作成している

【 小学校で気になる子の情報の中学校への引き継ぎについて 】  
 個別の教育支援計画を引き継ぐよう助言している／委員会主催で情報交換の場を設けている



【 中学校入学時に発達障害の子どもを把握する取り組み 】  
 <状況>ほぼ把握している  
 <把握方法>小学校からの引き継ぎ／保護者からの事前相談 ※制度化していない

【 中学校 】  
 1カ所

【 特別支援学級 】  
 1カ所  
 担当教員数：1 生徒実数：2

【 通級指導学級 】  
 言語学級：0カ所 情緒学級：0カ所

【 ヘルパー等について 】  
 配置：あり(総数：1人)  
 ヘルパー等の資格等：あり

【 ヘルパー等向け研修会について 】  
 あり  
 特別支援教育コーディネーター研

【 就学相談(就学指導)について 】  
 実施：している  
 生徒数：2人

【 巡回相談について 】  
 <インクルーシブ教育システム整備事業の利用>  
 利用している

<市町村独自の巡回相談>  
 実施している  
 親子ふれあい事業  
 派遣件数：2件 実支援生徒数：1人

【 個別の教育支援計画・指導計画について 】  
 支援の必要な子は、全員作成している

【 中学校で気になる子の情報の引き継ぎについて 】  
 ●高等学校：個別の教育支援計画を引き継ぐよう助言している／委員会主催で情報交換の場を設けている  
 ●卒業、相談機関：個別の教育支援計画を引き継ぐよう助言している／委員会主催で情報交換の場を設けている

高等学校・特別支援学校・就労 等



【 成人の発達障害者に対する支援 】

【 発達障害の可能性が疑われる(未診断)の方への対応 】  
 ・村地域包括支援センターに勤務しているケアマネージャーを紹介し、対応している。

【 自治体で行っている特別支援教育に関する研修会について 】  
 研修名／対象／年間回数／形態

・特別支援教育コーディネーター研修会／小・中  
 特支コーディネーター／2／定例

【 特別支援教育を進めるにあたり市町村独自で取組んでいること 】

・特別支援教育コーディネーターの配置。

【 教育研究所等市町村独自の機関との連携について 】

・巡回アドバイザーを要請し、学校のケース会議への助言。

【 他機関・他課連携について 】

<他課との取り組み>  
 ・保幼小連絡協議会。

<他機関との取り組み>  
 ・親子ふれあい事業。

【 要保護児童対策地域協議会や障害者自立支援協議会との連携 】

発達が気になる子への早期発見、早期支援に関するデータ

伊平屋村

◆ 人口：1,247人（平成28年度）

【出生】平成28年度  
年間出生数：11人  
養育医療申請児数：0人  
低出生体重児数：3人

【乳幼児健康診査】平成28年度

	受診率	要フォロー率	スクリーニング
乳児	85.7%	0.0%	保健師判断/医師判断 保護者の訴え
1歳半	88.8%	0.0%	
3歳児	90.0%	0.0%	

【未受診者対策】  
電話・はがきでの再通知  
・年3回のセット健診しかないため、児の体調や保護者の事情等での未受診はあっても、受診拒否はないため、月齢を過ぎても対象として受診させている。

【子育て支援サービス】  
◆子育て支援センター：  
  
気になる子のフォローの場としての利用：  
  
＜その他子育て支援サービス＞

【個別発達相談】  
年間回数：件/年 延べ 回/年  
担当職種：

【医療機関】  
\*「発達障がい児(者)の診療等を行っている医療機関リスト」(沖縄県発達障害者支援センター)参照

【療育グループ】

グループ名	対象児	開催日時	定員	実施場所	スタッフ

【健診事後フォロー教室】

グループ名	対象児	開催日時	定員	実施場所	スタッフ

【移行支援】

【移行支援】

【相談支援事業所】 指定障害児相談支援事業所 0カ所  
【療育の利用にあたり必要な手続き】

【療育】

児童福祉法による障害児通所支援				それ以外の通所支援		
児童発達支援		医療型児童発達支援	保育所等訪問支援	親子通園	単独通園	その他
親子通園	単独通園					
0カ所	0カ所	0カ所	0カ所	カ所	カ所	カ所

【自治体の実施する取り組みや研修】

【親の会等】  
・伊平屋村手をつなぐ親の会  
(社会福祉協議会にあり)  
  
\*「発達障がいに関する親の会・当事者団体等リスト」(沖縄県発達障害者支援センター)参照

【移行支援】

【保育所】※( )内は療育機関を併用している児の数

公立	認可	小規模認可	認可外	認定こども園	自治体独自の認定園
1カ所 (0人)	カ所 (0人)	カ所 (0人)	カ所 (0人)	カ所 (0人)	カ所

【障害児保育】  
実施園数：1カ所 実施人数：人  
  
＜必要な手続き＞  
診断書・医師意見書  
  
【通常保育の中の気になる子を把握する仕組み】  
・保育所保育士より気になる子の情報が入ることが多い(その場合、健診等で注意深く観察したり、母親との面談時間を多く持つ)。  
  
【気になる子がいた場合に紹介できる支援・機関】  
名護療育医療センター

【施設支援・巡回支援】  
  
＜対象施設＞  
  
＜必要な手続き＞  
  
＜対応職種＞

【自治体の実施する取り組みや研修】  
・発達障害の特性に配慮した支援の実施を促している。  
  
【認可外保育園の気になる子を把握する取り組み】  
  
＜発達障害に関する研修＞

【障害児保育から幼稚園や小学校へ繋げる取り組み】  
・保幼小連絡会議やコーディネーター連絡会において気になる児の障害児情報共有や、保一幼一小とつなぎを意識して支援会議を行っている。年3回、教育委員会主催。

【保育園での気になる子を幼稚園や小学校へ繋げる取り組み】  
・保幼小連絡会議やコーディネーター連絡会において気になる児の障害児情報共有や、保一幼一小とつなぎを意識して支援会議を行っている。年3回、教育委員会主催。

【放課後児童クラブ】  
学童保育設置数：設置なし  
障害児の受入学童数：カ所  
「障害児受入推進事業」実施学童数：カ所  
「障害児受入強化推進事業」実施学童数：カ所

【就園・就学】

保健師による個別支援(訪問、電話相談等)

# 伊平屋村

◆ 人口：1,247人（平成28年度）



【 児童支援・保護者支援・教師支援に向けた取り組み 】  
 ・ソーシャルスキルトレーニング(教育)

【 障害者相談支援事業 】  
 ●委託相談事業所（3カ所）  
 ・地域生活支援センター ウェーブ  
 ・北部障害者生活支援センター ハーモニー  
 ・地域生活支援事業所 うむさばる

【 巡回支援専門員整備事業 】  
 実施の予定はない

【 その他独自事業等 】

【 各機関の相互連携 】  
 発達支援に関する行政内での連携会議等

名称	特別支援コーディネーター会議
頻度	
参加部署等	保健師(行政)／教育委員会／保育士／養護教諭／専門医
主体	・就学支援について。

【 災害時の支援について 】

【 幼稚園入園時に発達障害の子どもを把握する取り組み 】  
 <状況>ほぼ把握している  
 <把握方法>スクリーニング検査実施／保育所からの引き継ぎ／保護者からの事前相談 ※制度化している

<b>【 幼稚園 】</b> 公立：1カ所 私立：0カ所	<b>【 就学相談(就学指導)について 】</b> 実施：している 幼児数：0人
<b>【 特別支援学級 】</b> 公立 0カ所 担当教諭数：0 幼児数：0	<b>【 巡回相談について 】</b> <インクルーシブ教育システム整備事業の利用> 利用していない
<b>【 加配支援員について 】</b> 配置：なし(総数：人) 加配支援員の資格等：なし	<市町村独自の巡回相談> 実施していない 派遣件数：件 実支援幼児数：人
<b>【 加配支援員向け研修会について 】</b> あり 村特別支援研修会	<b>【 個別の教育支援計画・指導計画について 】</b> 支援の必要な子は、全員作成している

【 幼稚園で気になる子の情報の小学校への引き継ぎについて 】  
 委員会主催で情報交換の場を設けている／担当者同士で引き継ぐよう文書等で促している／現場職員に任している／支援ファイル(新サポートノートいぶる等)の利用を推進している

【 小学校入学時に発達障害の子どもを把握する取り組み 】  
 <状況>ほぼ把握している  
 <把握方法>就学時健診でスクリーニング／保育所・幼稚園からの引き継ぎ／保護者からの事前相談 ※制度化している

<b>【 小学校 】</b> 2カ所	<b>【 就学相談(就学指導)について 】</b> 実施：している 児童数：2人
<b>【 特別支援学級 】</b> 1カ所 担当教員数：1 児童実数：1	<b>【 巡回相談について 】</b> <インクルーシブ教育システム整備事業の利用> 利用していない
<b>【 通級指導学級 】</b> 言語学級：カ所 情緒学級：カ所 担当教員数： 担当教員数： 児童実数： 児童実数：	<市町村独自の巡回相談> 実施していない 派遣件数：件 実支援児童数：人
<b>【 ヘルパー等について 】</b> 配置：あり(総数：1人) ヘルパー等の資格等：あり	<b>【 個別の教育支援計画・指導計画について 】</b> 診断がある子は、作成している
<b>【 ヘルパー等向け研修会について 】</b> あり 特別支援教育研修会／ライフスキル教育研修会	

【 小学校で気になる子の情報の中学校への引き継ぎについて 】  
 個別の教育支援計画を引き継ぐよう助言している／委員会主催で情報交換の場を設けている／担当者同士で引き継ぐよう文書等で促している／支援ファイル(新サポートノートいぶる等)の利用を推進している

【 中学校入学時に発達障害の子どもを把握する取り組み 】  
 <状況>ほぼ把握している  
 <把握方法>小学校からの引き継ぎ／保護者からの事前相談 ※制度化していない

<b>【 中学校 】</b> 2カ所	<b>【 就学相談(就学指導)について 】</b> 実施：している 生徒数：0人
<b>【 特別支援学級 】</b> 1カ所 担当教員数：1 生徒実数：2	<b>【 巡回相談について 】</b> <インクルーシブ教育システム整備事業の利用> 利用していない
<b>【 通級指導学級 】</b> 言語学級：カ所 情緒学級：カ所	<市町村独自の巡回相談> 実施していない 派遣件数：件 実支援生徒数：人
<b>【 ヘルパー等について 】</b> 配置：なし(総数：人) ヘルパー等の資格等：あり	<b>【 個別の教育支援計画・指導計画について 】</b> 診断がある子は、作成している
<b>【 ヘルパー等向け研修会について 】</b> あり 特別支援教育研修会／ライフスキル教育研修会	

【 中学校で気になる子の情報の引き継ぎについて 】  
 ●高等学校：個別の教育支援計画を引き継ぐよう助言している／担当者同士で引き継ぐよう文書等で促している／支援ファイル(新サポートノートいぶる等)の利用を推進している  
 ●卒後、相談機関：個別の教育支援計画を引き継ぐよう助言している／支援ファイル(新サポートノートいぶる等)の利用を推進している

高等学校・特別支援学校・就労 等

【 成人の発達障害者に対する支援 】  
 【 発達障害の可能性が疑われる(未診断)の方への対応 】

【 自治体で行っている特別支援教育に関する研修会について 】  
 研修名／対象／年間回数／形態

- ・特別支援教育研修会／村全教職員／1／定例
- ・ライフスキル教育研修会／村全教職員／3／定例
- ・特別支援教育コーディネーター連絡協議会／幼小中コーディネーター／3／定例
- ・保幼小連絡協議会／保幼小の担当教諭／3／定例

【 特別支援教育を進めるにあたり市町村独自で取組んでいること 】

・親子ふれあい事業の実施(県・村・名護療育園三者共同事業)。

【 教育研究所等市町村独自の機関との連携について 】

【 他機関・他課連携について 】

<他課との取り組み>  
 ・親子ふれあい事業に伴う住民課との連携。

<他機関との取り組み>

【 要保護児童対策地域協議会や障害者自立支援協議会との連携 】